

戦略案に対する県民意見等を踏まえた主な修正点

資料 8

戦略案への県民意見募集や県議会（11月定例会）等からの意見を踏まえ修正

No.	戦略（案）の記載	頁	修正（案）	意見
1	Ⅲ 人口推計と将来への影響 また、長野県の合計特殊出生率は1.34と、全国を上回っているものの4年連続で低下しています。 本県の人口は、急速な改善がみられる場合 であっても2100年頃までは減少が続く見通しです。	4	Ⅲ 人口推計と将来への影響 また、長野県の合計特殊出生率は1.34と、全国を上回っているものの4年連続で低下しています。 <u>出生数は、第2次ベビーブーム以降ほぼ一貫して減少が続いており、その当時と比較して約7割減少するなど、急速な少子化に歯止めがかかっていません。</u> 本県の人口は、<u>出生率などの</u>急速な改善がみられる場合であっても2100年頃までは減少が続く見通しです。	危機感を含め少子化に関する記載が全体的に少ないのではないかと
2	Ⅳ 新時代創造に向けた価値観の転換 ・休日や休暇をしっかりと取れ、男性の育休取得も当たり前の<u>職場</u>	7	・休日や休暇をしっかりと取れ、男性の育休取得も当たり前の<u>社会</u>	一つだけ文末が「職場」になっていて違和感
3	1-1 若者の社会参画を促進しよう ライフデザインについて考える機会を増やし、交流の場を広げ、若者の収入を増やし、長時間労働を見直すなど、若者を取り巻く環境を改善し、若者の暮らしや活躍を応援しましょう。	9	<u>若者一人ひとりが悩みや不安を解消してなりたい自分になれるよう、</u>ライフデザインについて考える機会を増やし、交流の場を広げ、若者の収入を増やし、長時間労働を見直すなど、若者を取り巻く環境を改善し、若者の暮らしや活躍を応援しましょう。	生まれながらの容姿等に対する悩みや諦めを抱える「男性弱者」と呼ばれる方に目を向け、その人たちがどんな人生を歩みたいのか、その希望を叶えるのがライフデザイン支援ではないかと
4	1-2 性別による固定的役割や格差をなくそう 【2050年にありたい姿】	10	(追加) <u>○女性がライフステージの中で直面する健康課題を乗り越え、自分らしく生きることができるようになっている。</u>	女性特有の健康課題への対応について戦略に取り上げていただきたい
5	1-3 共育でも当たり前になれる働き方に変えよう ・若い世代ほど「家事や育児は女性の役割」という考えに違和感を持ち、<u>多くの人が出産後も共働きを続けたいと考えています。</u>これは、中高年世代が若い頃との大きな違いです。	11	・若い世代ほど「家事や育児は女性の役割」という考えに違和感を持ち、<u>出産後も共働きを続けたいと考える方が多くなってきています。</u>これは、中高年世代が若い頃との大きな違いです。	「多くの若者が出産後も共働きをしたいと思っている」という断定的な記載は良くないのではないかと
6	1-6 一人ひとりに合った学びを実現しよう 【2050年にありたい姿】 ○他者と協働しながら社会の課題と向き合う社会のつくり手を育むための学びの「新しい当たり前」が、分権的な教育システムの中で実現している。	14	○他者と協働しながら社会の課題と向き合う社会のつくり手を育むための学びの「新しい当たり前」が、<u>教職員や保護者など子どもたちに身近な人々が学びのあり方を主体的に考えることができる</u>分権的な教育システムの中で実現している。	「分権的な教育システム」という記載が分かりづらい（分権的というのがどういう意味で、それが良いのか・悪いのかが分からない）
7	4-3 社会課題の解決のために様々な主体で共創しよう 一人多役を促進する特定地域づくり事業協同組合や労働者協同組合の活用・普及などを進めることが重要です。	24	一人多役を促進する特定地域づくり事業協同組合や、<u>話し合いを重視した運営で地域の必要に応える</u>労働者協同組合の活用・普及などを進めることが重要です。	「一人多役を促進する」は特定地域づくり事業協同組合の解説なので、労働者協同組合の解説を加筆いただきたい

(参考:県民意見募集)募集期間:11月28日～12月11日、意見数:27件